

埼玉県景気動向指数

2019(平成31)年2月分の概要

平成31年4月26日

埼玉県総務部統計課

1 基調判断

- 景気動向指数（C I一致指数）は、悪化を示している。

2 指数の動き

- 2月のC Iは、先行指数：109.9、一致指数：97.8、遅行指数：101.8となった。
(平成27年=100)
- 先行指数は、前月と比較して2.1ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は、0.17ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は、0.06ポイント下降し、4か月連続の下降となった。
- 一致指数は、前月と比較して0.4ポイント下降し、6か月連続の下降となった。3か月後方移動平均は、1.43ポイント下降し、8か月連続の下降、7か月後方移動平均は、1.20ポイント下降し、6か月連続の下降となった。
- 遅行指数は、前月と比較して0.4ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。3か月後方移動平均は、0.16ポイント下降し、5か月連続の下降、7か月後方移動平均は、0.25ポイント下降し、3か月連続の下降となった。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C1: 県生産指数(製造工業)	0.58	C4: 県有効求人倍率(除学卒)	-0.60
C8: 県生産財出荷指数	0.41	C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	-0.33
C6: 県建築着工床面積(非居住用)	0.18	C3: 県投資財出荷指数	-0.30
C9: 県耐久消費財出荷指数	0.06	C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.19
		C7: 県百貨店・スーパー販売額	-0.15

※ 各個別系列のウェイトは均等です。

4 一致指数の推移

